

ヨネックス・ゴルフダイジェスト レディスダブルス 2010

< 競技の条件 >

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会（JGA）ゴルフ規則及び本大会ローカルルールを適用する
2. 使用球
本競技の使用球に制限はありません。また、ワンボール条件は適用しないものとする
3. ホールとホールの間での練習禁止
競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで**2打の罰を受ける**。ただし、ラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける
練習グリーンを除く
4. タイスコアの場合
18ホール終了後チームスコアがタイとなった場合、アウト・インどちらのスタートにかかわらず18番ホールからのカウントバックにより上位を決定する
5. チーム内の1人が棄権した場合
プレーの途中でチームを構成する1人が不慮の事故や病気等によって棄権した場合、9ホールを消化していれば残りの1人のスコアを採用することで正式記録とする。9ホールを消化していない場合、そのチームのスコアは参考記録となる（その場合、残りの1人でプレー続行しても構わない）
6. 険悪な気象状況のため競技が中止になった場合
競技中止の時点で9ホールを消化していれば競技成立、消化していなければ不成立とする。なお、9ホールでの競技成立の場合は、アウトスタート・インスタート各々の最少スコアチームを上位とする。タイスコアが発生した場合は、アウトスタートは9番、インスタートは18番からのカウントバックにより上位を決定する
7. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者はゴルフ規則24-2b(i)を適用し、救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は、**2打**。

< 競技方法 >

- ・ 2 人 1 組のチーム戦とし 1 8 ホールフォアボールストロークプレーによって行う
(表彰時には、ネット部門とグロス部門に分かれる)
- ・ それぞれが各自の球をプレーし、 2 人のうちどちらか少ない方のスコアをそのホールのスコアとする (パートナーの 1 人が 1 ホールのプレーを終えなくても罰はない) チームのスコアが確定した時点で、 パートナーのボールはピックアップしなければならない
- ・ ティショットはスタートホールにおいてはドロースの順番とする。次のホール以降はチームスコアの良いチームがオナー権を持ち、チーム内であれば、任意の打順でプレーすることができる。ただし、 2 打目以降は原則とし遠球先打でプレーをする。遠球先打の例外として、グリーン上においては戦略上、必ずしも遠いボールからパッティングしなくてもよい
- ・ プレーヤーは同じチーム内のパートナーおよびキャディからアドバイスを受けることができる。なお、他チームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、あるいはアドバイスを求めた場合には J G A ゴルフ規則第 8 条によりそのホール **2 打の罰を付加する**
- ・ 故意に違う方向に打つなど、故意にパートナーの援助をするプレーをした場合はそのホール **2 打の罰**を付加する(フェアプレーの精神)
- ・ 処置について疑問のある場合や、 1 ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は 罰なしに第 2 の球をプレーすることができる。 第 2 の球を打つ行動を起こす前に、競技者は(イ)規則 3-3 を援用すること(ロ)規則により許されればその球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくべきである。どちらの球のスコアも同じであった場合も含め、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない
第 2 の球の処置をした場合は 2 つのスコアを記入し、スコアカード提出時に競技委員長の裁定を仰ぐこと

< 競技上の注意事項 >

- 1 . 大会受付のチェックイン登録は、遅くともスタート 1 時間前までには必ず済ませ、スタート 1 0 分前にはティインググラウンド側にて待機すること。スタート時刻に遅れた場合にはペナルティを課すか、または失格というケースもありうる。スタート説明を受けずにスタートすることはできない
- 2 . 登録選手 2 名のうち 1 名の変更は認めるが、出場資格を遵守したものでなければならない。試合当日の変更については、スタート 1 時間前までに登録し直すこととする
- 3 . チームを構成した一人がやむをえず欠席し、代替の選手が見つからない場合、その残された一人は、同ドロースの同伴競技者としてマーカーを努めるケースがある。また、マーカーを努めるプレーヤーが欠場の場合、事務局からマーカーが出るケースがある

- 4 . ペアリング(ドロー)は諸般の事情により当日変更もありうる。なお、ドローは事務局が決定する
- 5 . スタート前の練習は練習場において備付けの球を使用し、1人1箱とする
- 6 . グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある
- 7 . スタート時にスタート係が各チームへ同伴競技チームの競技用スコアカードを手渡すが、スコアカードは1チーム1枚。各チームはマーカーとしてスコアカードに同伴競技チームのスコアを記入する。
競技終了後マーカーはマーカー確認署名をして、同伴競技チームにスコアカードを渡し、競技者は各ホールを確認の上、競技者確認署名をして提出する。マーカー、競技者のいずれも2名の署名が必要となる
- 8 . 本競技は大会指定ティマークを使用する(1・10番のみ大会特別ティマークを使用)
- 9 . プレー中はマナーを遵守するとともに、スロープレーは厳禁とする。プレーの不当な遅延についてはペナルティを課すことがある
- 10 . ハーフターンでの練習は、練習グリーンのみとする
- 11 . OBまたはロストボールの可能性のある場合には、ローカルルールで指定された場合を除き、必ず暫定球の処置を行うこと
- 12 . ショートホールで後続組がティグラウンドに到着しており、同伴のプレーヤーの全員がグリーンオンしている場合は、球をマークして取り除き、後続組に打たせること
- 13 . コース内には携帯電話の持ち込みをしないこと
- 14 . GPSナビ等の距離測定器の使用はできない
- 15 . キャディはゴルフ場で配属するものを使用し、他からの帯同キャディは認められない
- 16 . ギャラリー(応援者)はコース内に立ち入ることができない
- 17 . その他、本大会の競技規則やローカルルールの追加・変更は当日スタート時に発表する

< その他 >

- 賞典：(最終組がホールアウトしてから約20分後に表彰式を始めます)
 - ・参加賞あり。参加全チームに進呈
 - ・表彰式あり。ネット部門(新ペリア)とグロス部門(スクラッチ)をそれぞれ表彰
ネット部門は上位5位までを表彰
 - ・ダブルパーカットのハンディキャップは上限36

- ・同ネットの場合は「ローハンディのチーム」「18番からのカウントバック」により順位を決定します
- ・ネット部門においては、飛び賞・特別賞などがあります

グロス部門は上位3位までを表彰

- ・グロス部門入賞の3ペアについては、ネット部門は表彰除外になります

- 試打会レッスン会の開催：

ヨネックス新製品クラブの試打会の開催。またヨネックス所属プロによるレッスン会を行います

< 注意事項 >

- エントリーフィ入金後は、いかなる理由でも返金できません。
- 申込み締切り後の会場変更はできません。
- 大会中に発生した傷害、事故等について応急処置のほかは、主催・協賛・協力の各団体は一切責任を負いません。
- 日本国刑法に問われている者或いは現在・過去において暴力団に関係する者及びこれらに準ずると判断される者は、本競技の参加を認めません。
- 本競技の品位を損なう行為があった場合は、プレー中であっても即刻、競技への参加を取り消します。
- 参加者の顔写真および氏名等を使用する権利は大会事務局に帰属させていただきます。
- お申込みされた方の個人情報は大会に関するご連絡に利用させていただく他、ゴルフダイジェスト社、ヨネックス株式会社よりイベント・出版物・販売物等の資料送付に利用させていただくことがあります。ご希望されない方はご連絡をお願いします。
- お申込みされた方の個人情報はゴルフダイジェスト社、ヨネックス株式会社が責任を持って管理し、業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません（法令などにより開示を求められた場合は除く）。